

さかみち

のほ えがお ま
「さかみちを上げると、笑顔が待ってるよ」

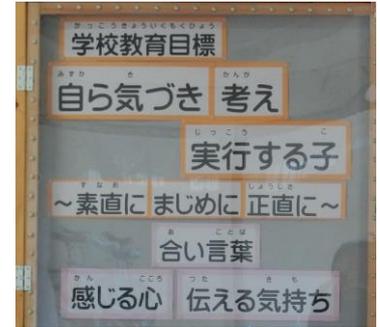
白小だより

3月号

令和6年2月28日

想像する力は豊かな人間性の源

子どもたちが毎日使う児童玄関に学校教育目標「自ら気づき 考え 実行する子」を掲示しています。登校するたびに、廊下を通るたびにこの言葉に触れ、そのような子どもたちに育ててほしいという願いを込めています。全校集会などで折に触れて、「周りをよく見て気づく人になろう。気づいたらどうしたらいいか考えよう。考えたら実行しよう。」と話をしてきました。特に、目に見えないものや見えにくいものにこそ気づいてほしいと話をしています。人の心や気持ちは見えにくいものです。見えないものを見るのは難しいことですが、「見えない」で片づけてしまってはならないことがあります。人の心や気持ちに気づくためには、気づくための力が必要です。それは「想像する力」です。



「これをするとなんかうれしいだろうな。喜ぶだろうな。」逆に、「こんなことをされるといやな気持ちになるだろうな。つらい気持ちになるだろうな。」「こんな言葉をかけられると嬉しいだろうな。安心するだろうな。」逆に、「こんなことを言われると嫌だろうな。悲しいだろうな。」と相手の気持ちを想像する力が必要です。想像する力は人間がもつ素晴らしい力です。想像する力は、本校が今年度合言葉としている「感じる心」につながるものです。相手の気持ちを想像したり、相手の様子から本当の気持ちを感じ取ったりできる人になってもらいたいと思っています。感じ取ったことを言葉や行動で伝えられる人になることを期待し、教育活動全体を通して取り組んでいるところです。子どもたちの良い姿や言動が学校生活の中で多く見られ、成長を感じて嬉しく思っています。一方で、集団生活をする中で、自分の言動が相手にとってどのようなものか、相手の気持ちを想像することができず、トラブルになることがあります。想像力の欠如です。トラブルが起こった時は「友だちがどんな気持ちになるか考えて。」と声をかけ丁寧に指導をしています。このことにより、子どもたちは自らを振り返り、自分軸だけではなく相手の軸でも考える力、相手の立場に立って考える力が育ってきています。豊かな人間性を育む源である想像する力を、今後ともご家庭とともに育てていきたいと思っています。

3月の生活目標

(担当 運営委員会)



感謝の気持ちを
伝えよう

地域の方からいただきました

白小ミニアルバム 感謝の気持ちを伝える



卒業式に向けて練習に励んでいます